

日本フォーカシング協会「公開講座」 新潟県初公演 池見 陽先生の 「フォーカシング 傾聴がアップデートされるひととき」



この度、本県で初めて「2018年度 日本フォーカシング協会年次大会（総会とフォーカシングの理論と実践を発表し体験する会）」を開催することになりました。年次大会に先立ちまして、初来新の池見陽先生をお招きし、公開講座を開催させて頂くことになりました。

なかなかうまく聴くことができない方、もっとうまく話を聴けるようになりたい方等、ご自分の傾聴力をアップデートしてみませんか。

日頃、人（両親・兄妹・子ども・上司・同僚・部下・知人など）の話をよく聴く方、対人援助（相談業務、カウンセリングやキャリアコンサルティングなど）に関わっている皆様方にさらなる傾聴（聴くこと）への気づきを体感して頂けるひと時です。どなたでもご参加いただけます。

概要 「傾聴・フォーカシングのペア・ワーク」を予定しております。

フォーカシングはクライアントの体験を記述したもの、すなわち、クライアントがフォーカシングをしている、これに対してセラピストは傾聴している。そこで、セラピスト目線だった Carl Rogers とクライアント目線だった Eugene Gendlin は対立することなく、共同して Person-Centered Approach を築いていったのです。ですから、傾聴を理解するにしても、フォーカシングを理解するにしても、両側をセットで考える必要があります。Rogers-Gendlin の真髄を明らかにするこの考え方を最近「シカゴ・スタイルの傾聴」と呼ぶことにしました。当日はその一端を体験してみたいと思います。

哲学者であり、心理学者でもあるジェンドリン (E.T.Gendlin) は、人が生きている状況の中でうすうすと感じられている、まだ言葉にはならないけれど、確かにからだに感じられる感覚は、心のメッセージであり、生の可能性だと考えます。そして、この心のメッセージであり、生の可能性である意味ありげな感覚に注意を向け、時間を取り、からだの実感から次なるものが現れてくる過程を“フォーカシング”と名付け、他者と共にいるための大切な在り方であると教えています。

その人の前に座ると、気持ちの背景にあるモヤモヤしたからだの感じが自然に浮かび上がってくる人、その人の前に座ると自分が感じていることを見つめたいくなるような人、その人の前に座ると、自分が本当の自分自身として、心に暗示された可能性と一緒に、あたたかく見つめ、育ててくれる人、そういう人が、フォーカシングを生きている人と言えるでしょう。フォーカシングの考え方は、心理臨床、医療、福祉、教育等の現場に限らず、人がからだで生きる生活のあらゆる場面で生かすことができます。

■講 師

池見 陽 先生

日本のフォーカシング指向心理療法師
臨床心理学者・臨床心理士・医学博士
関西大学臨床心理専門職大学院教授。
日本における心身医学の創設者である池見酉次郎は
叔父にあたる。

■日 時

平成30年8月18日(土)
10時～12時(受付開始9時半)

■会 場

新潟市万代市民会館 6F（「集い」と同じ）

■対 象

対人援助（学生含む）に関わっている方
（どなたでも）、協会メンバー

■参加料

一般（非メンバー）：1,000 円
協会メンバー：無 料

■申込方法

日本フォーカシング協会HP(<https://focusing.jp>)より、
「公開講座」のタグをクリックしてお申し込みください。
入金の方法は、申し込み後にご案内いたします。

■申込締切

7月25日（水）

■参加費の振込の締切

7月30日（月）

■主 催

日本フォーカシング協会
2018年度日本フォーカシング協会年次大会
～フォーカサーの集い in 新潟～ 実行委員会

ユージン・ジェンドリン逝去のお知らせ

人が体験していることを表現し理解していくプロセスに着目しフォーカシングと名付けた米国の哲学者・心理学者のユージン・ジェンドリン (Eugene T. Gendlin) が、2017年5月1日午後 (Eastern Standad Time、日本時間2日午前)、ニューヨークで亡くなりました。90歳でした。私たちの生活と社会に恵みをもたらした彼の多大なる功績と人柄を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

